

全員提出必須

前年用①（片面印刷）

収入計算書

私は、奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込みを行います。

○大学名 関西大学 研究科（研究科名を記入）

○課程（該当の数字に○）

1. 修士・博士前期課程／専門職大学院課程（法科大学院を除く）
2. 博士後期課程
3. 法科大学院

○申込者氏名 _____

○学籍番号 _____

[各項目 1 万円未満切り捨て]

前年（2022 年 1 月～ 12 月）の収入額 【証明書類必要】		
	収入項目	収入額
定職 (※1)	定職（本人）	(年額) 万円
	定職（配偶者） [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (※1)	アルバイト 1	(年額) 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
父母等からの給付額（※2）		(年額) 万円
奨学金		(年額) 万円
その他の収入（利子・配当・不動産 ・年金等の公的手当て・預貯金の取崩等） (※3)		(年額) 万円
収入額合計		(年額) 万円

申込者本人 1 人にかかる 前年（2022 年 1 月～ 12 月）の支出額 [申告のみ：支出についての証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費（食費・住居費・光熱費等）（※4）	(年額) 万円
授業料	(年額) 万円
通学費（定期代等）	(年額) 万円
その他の費用（書籍・遊興費・課外活動費 等）	(年額) 万円
支出額合計	(年額) 万円

【記入時の注意事項】

※1 複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

※2 父母等からの給付額を計上する場合、次頁の「前年用②（片面印刷）」に月別内訳を可能な限り記入してください。

また、父母等給付者の自署が必要です。

※3 定職、アルバイト、父母等からの給付額、奨学金のいずれの収入もなく、預貯金の取崩しのみで生活している場合は、「その他の収入」に取崩した預貯金額を記入してください。

※4 自宅通学者の日常生活費は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費／家族人数）を記入してください。

「収入額合計」≧「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。
収入額合計は、0 万円にならないよう記入してください。

必要となる証明書類は次頁の「前年用②（片面印刷）」に添付してください。

全員提出必須

前年用②（片面印刷）

証明書類貼付欄

証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。

★父母等からの給付額について

下記の者が奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 _____

○父母等給付者氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

（2022年）

〔合計欄のみ 1万円未満切捨て〕

1 月	円	8 月	円
2 月		9 月	
3 月		10 月	
4 月		11 月	
5 月		12 月	
6 月		小計	万円
7 月			

〔月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。〕

全員提出必須

本年見込用①（片面印刷）

収入計算書

私は、奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。

○大学名 関西大学 研究科（研究科名を記入）

○課程（該当の数字に○）

1. 修士・博士前期課程／専門職大学院課程（法科大学院を除く）
2. 博士後期課程
3. 法科大学院

○申込者氏名 _____ ○学籍番号 _____

【収入の状況】（A・Bの該当する方に、「○」を付けてください。）

収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。

変動したとは、別の勤務先が変わったり、アルバイトの数が変更になった場合を指します。

A	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。
B	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。

→このページは記入不要

→以下の各項目を全て記入（前年と変動のない
同じ項目も同じ金額を記入）

[各項目 1 万円未満切り捨て]

本年（2023 年 1 月～ 12 月）の収入見込額 【証明書類必要】		
	収入項目	収入額
定職 (※1)	定職（本人）	(年額) 万円
	定職（配偶者） [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイ ト (※1)	アルバイト 1	(年額) 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円
父母等からの給付額 (※2)		(年額) 万円
奨学金 (申込中の奨学金は除く)		(年額) 万円
その他の収入（利子・配当・不動産 ・年金等の公的手当て・預貯金の取崩等） (※3)		(年額) 万円
収入見込額合計		(年額) 万円



申込者本人 1 人にかかる 本年（2023 年 1 月～ 12 月）の支出見込額 [申告のみ：証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費（食費・住居 費・光熱費等）(※4)	(年額) 万円
授業料	(年額) 万円
通学費（定期代等）	(年額) 万円
その他の費用（書籍・遊興 費・課外活動費 等）	(年額) 万円
支出見込額合計	(年額) 万円

【記入時の注意事項】

- ※1 複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。
- ※2 父母等からの給付額を計上する場合、次頁の「本年見込用②（片面印刷）」に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。
- ※3 定職、アルバイト、父母等からの給付額、奨学金のいずれの収入もなく、預貯金の取崩しのみで生活している場合は、「その他の収入」に取崩した預貯金額を記入してください。
- ※4 自宅通学者の日常生活費は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費／家族人数）を記入してください。

※「収入見込額合計」≧「支出見込額合計」とならない場合は、その事由を記載してください。
収入見込額合計は、0 万円とならないよう記入してください。

【事由】

次頁の「本年見込用②（片面印刷）」に前年の収入から変動のある証明書のみ添付してください。

前年の収入に対して、変動がない方は
このページ提出不要
ただし、「本年見込用①」は全員提出
必須のため注意

本年見込用②（片面印刷）

証明書類貼付欄

証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。
収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

★父母等からの給付額について

下記の者が奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 _____

○父母等給付者氏名【自署】 _____ ○申込者との関係（続柄） _____

（2023年）

〔合計欄のみ 1万円未満切捨て〕

1 月	円	8 月	円
2 月		9 月	
3 月		10 月	
4 月		11 月	
5 月		12 月	
6 月		小計	万円
7 月			

〔月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。〕